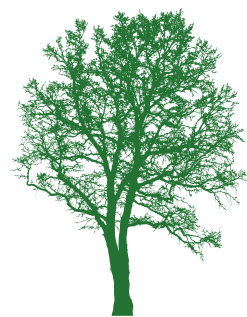
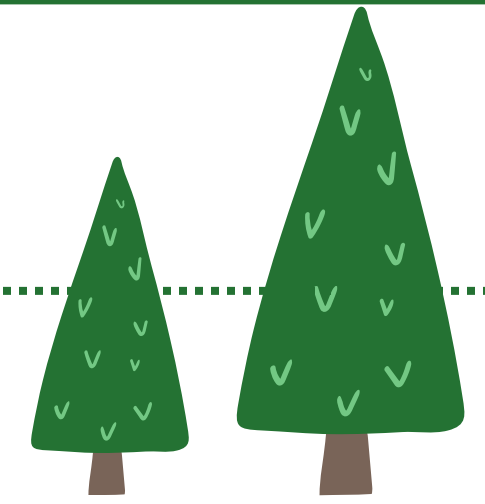


WAKAKUSA.PT



(一社) 若草プロジェクト 2022年度事業報告





01

「つなぐ事業」

02

「ひろめる」事業

03

「まなぶ」事業

事業実施
状況



ア・LINE相談

イ・若草ハウス

ウ・まちなか保健室

エ・企業との連携

オ・プラットホーム事業

カ・若草メディカルサポート基金

01

「つなぐ事業」

LINE相談

平日1日(20:00~22:00)+週末1日
(18:00~21:00または17:00~20:00)の
週2日実施。対応件数1,757件

居場所支援：若草ハウス他

- ・福祉系専門職がチームとして支援
- ・前年度からのべの利用者数 25名
- ・40人にリーガルサポートを提供

まちなか保健室

- ・308日開室
- ・相談、ワークショップ、就労体験
- ・学校や街でのアウトリーチ

支援現場と企業を繋ぐ

- ・ファッションイベント（ファーストリテイリング）
- ・プラットフォーム「TsunAが〜る」

プラットフォーム事業

169の支援団体が登録を完了し、連携企業9社と連携企画を実施

若草メディカルサポート基金

2020年度の試験的実施の結果を鑑み、実施内容の検討



02

「ひろめる」事業

ア・シンポジウム

イ・広報事業

ウ・SNSの活用



シンポジウム（研修）

～国際ガールズデーに寄せて～

“18歳成人で何が変わるか？”

・日時 2022年11月3日（木祝）13:00～

・会場 大妻女子大学

・基調講演 林香里（東京大学）

・新しい法律を学ぶ

「18歳成人民法」 笹井朋昭（法務省）

「女性支援法」 河村のり子（厚労省）

「AV新法」 金尻カズナ（NPO法人ぱっぷす）

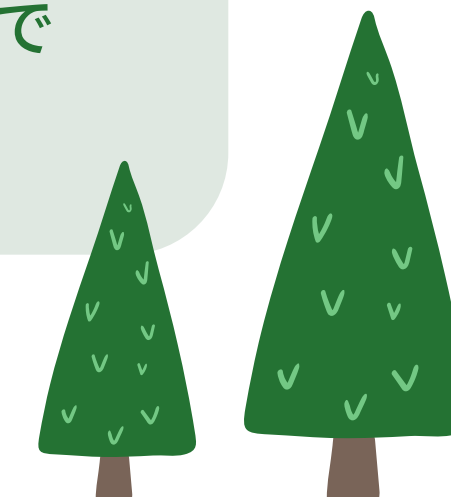
・ディスカッション「18歳成人で何が変わるか？」当日の参加者：計407名ハイブリッド開催

広報活動

- ・年2回のニュースレターの発行
- ・『ありがとう寂聴先生』刊行
- ・国際女性デーに広報誌MARCH発行

SNSの活用

- ・フォロワーの増加
- ・「女の子へのメッセージ」イベントで13,030件のインプレッション獲得



「まなぶ」事業

03

ア．研修事業

イ．Youtube事業



研修

シンポジウムと兼ねる

Youtube

- ・瀬戸内寂聴氏の生きづらさを抱えた少女たちへのメッセージ動画をアップ
- ・企業からのメッセージ「18歳新成人へのエール」動画をアップ

